

原発性硬化性胆管炎診断基準

(厚労省「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」班、2016)

診断項目

I. 大項目

A. 胆道画像検査にて

- 1)特徴的な胆管像を認める。
- 2)非特異的な胆管像を認める。

B. 血液所見上持続性の胆汁うっ滞を認める。

II. 小項目

a. 炎症性腸疾患の合併

b. 肝臓病理所見

onion skin lesionまたは小葉間胆管の線維性消失

慢性胆汁うっ滞所見(細胆管増生および線維化)

A1)+B, A1)+a, A1)+b, A2)+B+a+b
A1), A2)+B+a+b, A2)+B+a, A2)+B+b
A2)+a+b, A2)+a, A2)+b

確診
準確診
疑診